

運用報告書 (全体版)

D I A M高格付外債ファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券
信託期間	2008年10月15日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	D I A M高格付外債ファンド 「国際機関債」および「海外国債等」を実質的な主要投資対象とします。 国際機関債マザーファンド 「国際機関債」を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンドは、国際機関債マザーファンド受益証券を通じて実質的に「AAA格の国際機関債」に、また直接「AAA格の海外国債等」に、それぞれ投資することにより、信用リスクを回避しつつ相対的に高い利回りと為替益の獲得をめざして運用を行います。 国際機関債マザーファンドは、主として新興国通貨建て国際機関債に投資します。これらの債券は新興国の通貨建てで発行されますが、その信用力は当該新興国ではなく発行体である国際機関に依存します。 「国債等」には、国債のほかソブリン債を含みます。 実質的な投資対象である国際機関債および国債は、当初組入時において最高位の信用格付であるAAA格(S & P社) / Aaa格(Moody's社)を取得している(ただし、両社が格付を付与している場合には、どちらか高い方の格付を基準)ものに限り、保有する債券の格付が格下げにより上記基準を満たさなくなった場合は、当該債券を速やかに売却するものとします。 国際機関債マザーファンド受益証券への投資を通じて投資する「AAA格の国際機関債」と、直接投資する「AAA格の海外国債等」の時価金額比率は、おおむね2:1程度とします。 実質的な投資対象通貨数は原則として6~10通貨程度とします。これら投資対象通貨の選定にあたっては、主に中短期的金利水準に着目しますが、流動性、投資通貨規制等も総合的に勘案します。 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。
組入制限	マザーファンド受益証券への投資割合には、制限を設けません。 株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への実質投資割合は、制限を設けません。
分配方針	決算日(原則として毎月19日。休業日の場合は翌営業日。)に、経費控除後の利子配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

愛称：トリプルエース

第130期	<決算日	2019年10月21日>
第131期	<決算日	2019年11月19日>
第132期	<決算日	2019年12月19日>
第133期	<決算日	2020年1月20日>
第134期	<決算日	2020年2月19日>
第135期	<決算日	2020年3月19日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「D I A M高格付外債ファンド」は、2020年3月19日に第135期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

D I AM高格付外債ファンド

■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			債券組入率 比	債券先物率 比	純資産額
		(分配落)	税金 込	分配 金			
第19作成期	106期(2017年10月19日)	円 5,467	円 35	% △0.5	% 95.3	% -	百万円 12,139
	107期(2017年11月20日)	5,201	35	△4.2	94.6	-	11,370
	108期(2017年12月19日)	5,280	35	2.2	95.0	-	11,420
	109期(2018年1月19日)	5,344	35	1.9	95.3	-	11,552
	110期(2018年2月19日)	5,120	35	△3.5	94.3	-	10,903
	111期(2018年3月19日)	4,935	35	△2.9	94.1	-	10,458
第20作成期	112期(2018年4月19日)	4,952	35	1.1	95.1	-	10,379
	113期(2018年5月21日)	4,665	35	△5.1	95.3	-	9,697
	114期(2018年6月19日)	4,507	35	△2.6	94.5	-	9,235
	115期(2018年7月19日)	4,533	35	1.4	95.7	-	9,172
	116期(2018年8月20日)	4,098	35	△8.8	95.8	-	8,176
	117期(2018年9月19日)	4,025	35	△0.9	95.1	-	7,784
第21作成期	118期(2018年10月19日)	4,262	35	6.8	95.4	-	7,991
	119期(2018年11月19日)	4,415	25	4.2	94.6	-	8,215
	120期(2018年12月19日)	4,367	25	△0.5	94.8	-	7,946
	121期(2019年1月21日)	4,333	25	△0.2	95.2	-	7,844
	122期(2019年2月19日)	4,393	25	2.0	95.8	-	7,862
	123期(2019年3月19日)	4,355	25	△0.3	95.2	-	7,596
第22作成期	124期(2019年4月19日)	4,270	25	△1.4	95.5	-	7,333
	125期(2019年5月20日)	4,080	25	△3.9	96.0	-	6,969
	126期(2019年6月19日)	4,159	25	2.5	95.4	-	7,064
	127期(2019年7月19日)	4,258	25	3.0	94.0	-	7,178
	128期(2019年8月19日)	4,114	25	△2.8	94.1	-	6,893
	129期(2019年9月19日)	4,153	25	1.6	94.8	-	6,911
第23作成期	130期(2019年10月21日)	4,151	25	0.6	95.4	-	6,872
	131期(2019年11月19日)	4,167	25	1.0	94.7	-	6,845
	132期(2019年12月19日)	4,199	25	1.4	96.1	-	6,824
	133期(2020年1月20日)	4,267	25	2.2	95.9	-	6,880
	134期(2020年2月19日)	4,172	25	△1.6	96.7	-	6,642
	135期(2020年3月19日)	3,725	25	△10.1	96.2	-	5,837

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注4) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注5) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

■過去6ヶ月間の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
		円	騰 落 率		
第130期	(期首) 2019年9月19日	4,153	—	94.8	—
	9月末	4,116	△0.9	94.8	—
	(期末) 2019年10月21日	4,176	0.6	95.4	—
第131期	(期首) 2019年10月21日	4,151	—	95.4	—
	10月末	4,212	1.5	95.5	—
	(期末) 2019年11月19日	4,192	1.0	94.7	—
第132期	(期首) 2019年11月19日	4,167	—	94.7	—
	11月末	4,193	0.6	94.8	—
	(期末) 2019年12月19日	4,224	1.4	96.1	—
第133期	(期首) 2019年12月19日	4,199	—	96.1	—
	12月末	4,214	0.4	95.4	—
	(期末) 2020年1月20日	4,292	2.2	95.9	—
第134期	(期首) 2020年1月20日	4,267	—	95.9	—
	1月末	4,204	△1.5	96.1	—
	(期末) 2020年2月19日	4,197	△1.6	96.7	—
第135期	(期首) 2020年2月19日	4,172	—	96.7	—
	2月末	4,039	△3.2	96.6	—
	(期末) 2020年3月19日	3,750	△10.1	96.2	—

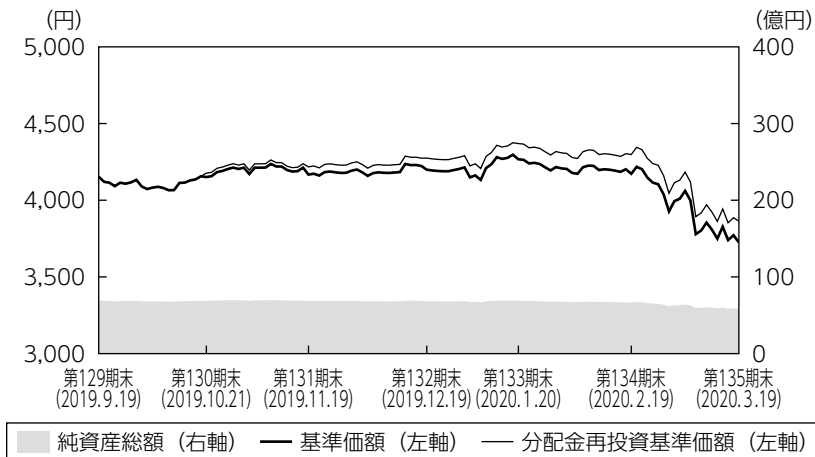
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■第130期～第135期の運用経過（2019年9月20日から2020年3月19日まで）

基準価額等の推移



第130期首： 4,153円
第135期末： 3,725円
(既払分配金150円)
騰落率： △7.0%
(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

F R B（米連邦準備理事会）が政策金利を引き下げたことなどから米国債の利回りが低下（価格は上昇）したことや、米ドル需要の強さなどから米ドル高円安が進行したことはプラス要因となりました。一方、新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念や原油価格の急落などを背景に市場のリスク許容度が急速に低下し、米ドル以外の投資国の通貨が対円で大きく下落したことはマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

投資環境

債券市場では、世界景気の減速懸念などを背景に各国中央銀行が緩和的な金融政策を維持したことなどから、短期ゾーンを中心に金利低下（価格上昇）圧力がかかりました。一方、新型コロナウイルスの感染拡大などを受けて市場のリスク許容度が急速に低下し、リスク性資産が全般に売られたことは金利上昇（価格下落）圧力となりました。その結果、米国の国債利回りは全般に低下したものの、その他の投資国では概ね短期ゾーンが低下、中長期ゾーンは上昇しました。

為替市場では、投資対象国の通貨は米中对立が通商面での合意に達するとの期待などから堅調に推移する場面も見られたものの、新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念が高まったことや原油価格が急落したことなどを背景に、市場のリスク許容度が急速に低下したことなどから、米ドルを除き対円で下落しました。米ドルは市場のリスク回避姿勢の強まりを受けた需要の高まりなどから対円で上昇しました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

期中に投資対象国の見直しを実施しました。各国の国債利回りの水準などを考慮して、オーストラリアを除外し、新たにシンガポールを組入れました。作成期末時点では、国際機関債マザーファンドを通じて実質的に「A A A格の国際機関債」に純資産総額の3分の2を投資し、残りの概ね3分の1は「A A A格の海外国債等」の中からシンガポール国債および米国情債にほぼ同額ずつ直接投資しました。

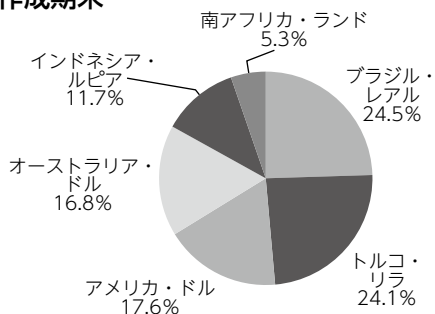
●国際機関債マザーファンド

各国の国債利回りの水準、新興国通貨建て国際機関債の流動性などを考慮し、トルコリラ、インドネシアルピア、南アフリカランド建債券に引き続き投資したほか、ブラジルレアルを除外し、新たにメキシコペソを組入れました。

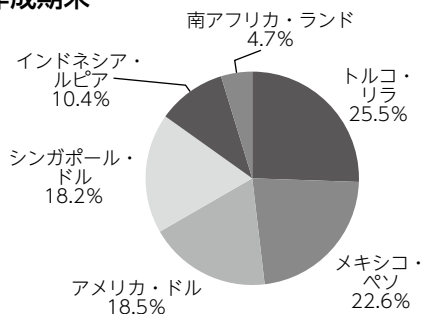
【運用状況】

○通貨別構成比

前作成期末



当作成期末



※比率は当ファンドが実質的に組入れている有価証券の評価額に対する割合です。

分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第130期	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期
	2019年9月20日 ~2019年10月21日	2019年10月22日 ~2019年11月19日	2019年11月20日 ~2019年12月19日	2019年12月20日 ~2020年1月20日	2020年1月21日 ~2020年2月19日	2020年2月20日 ~2020年3月19日
当期分配金（税引前）	25円	25円	25円	25円	25円	25円
対基準価額比率	0.60%	0.60%	0.59%	0.58%	0.60%	0.67%
当期の収益	22円	22円	23円	25円	20円	19円
当期の収益以外	2円	2円	1円	-円	4円	5円
翌期繰越分配対象額	174円	171円	170円	171円	166円	161円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、純資産総額に対して国際機関債マザーファンドと直接組入れる国債等が概ね2：1となるよう運用を行う方針です。なお、直接組入れる国債等については、金利水準および市場流動性などから適宜見直しをはかる方針です。中長期的に安定した収益の積み上げをめざします。

●国際機関債マザーファンド

世界の主要な国際機関が発行する新興国通貨建て債券を組入れる方針です。金利水準および市場流動性などを鑑みながら組入対象については適宜見直しをはかり、引き続き、中長期的に安定した収益の積み上げをめざします。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第130期～第135期 (2019年9月20日 ～2020年3月19日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	30円	
(投信会社)	(15)	(0.354)	
(販売会社)	(15)	(0.354)	
(受託会社)	(1)	(0.027)	
(b) その他費用	0	0.011	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(保管費用)	(0)	(0.009)	
(監査費用)	(0)	(0.001)	
合計	31	0.746	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

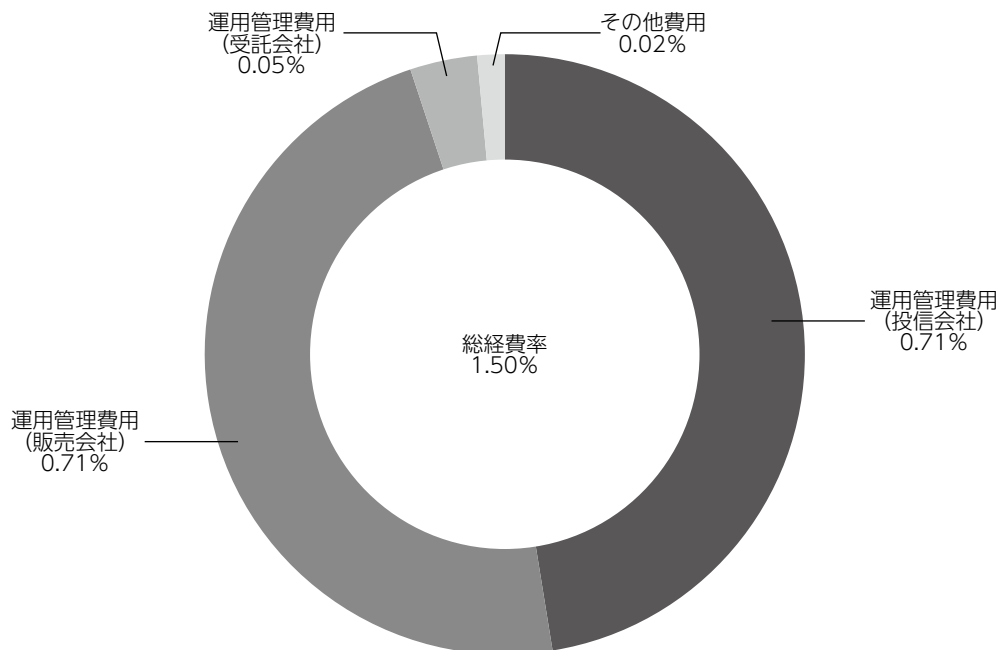
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.50%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況（2019年9月20日から2020年3月19日まで）

公社債

			第 130 期 ~ 第 135 期	
			買 付 額	売 付 額
外 国	ア メ リ カ	国 債 証 券	千アメリカ・ドル 4,060	千アメリカ・ドル 5,301 (-)
	オ ー ス ト ラ リ ア	国 債 証 券	千オーストラリア・ドル -	千オーストラリア・ドル 14,961 (-)
	シ ン ガ ポ ー ル	国 債 証 券	千シンガポール・ドル 13,884	千シンガポール・ドル 407 (-)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2019年9月20日から2020年3月19日まで）

	第 130 期 ~ 第 135 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
国際機関債マザーファンド	千□ -	千円 -	千□ 361,915	千円 506,000

■利害関係人との取引状況等（2019年9月20日から2020年3月19日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(1) 公社債

(A) 債券種類別開示

外国（外貨建）公社債

区 分	第 23 作 成 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
ア メ リ カ	千アメリカ・ドル 8,730	千アメリカ・ドル 9,548	千円 1,040,543	% 17.8	% -	% -	% 17.8	% -
シ ン ガ ポ ー ル	千シンガポール・ドル 13,100	千シンガポール・ドル 13,541	千円 1,021,129	17.5	-	-	10.2	7.3
合 計	-	-	千円 2,061,672	35.3	-	-	28.0	7.3

(注1) 邦貨換算金額は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、作成期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示

外国（外貨建）公社債銘柄別

銘 柄	第 23 作 成 期 末						償 還 年 月 日
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額			
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
(アメリカ)		%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円		
US T N/B 7.125 02/15/23	国 債 証 券	7.1250	3,480	4,128	449,959	2023/02/15	
US T N/B 2.125 05/15/22	国 債 証 券	2.1250	5,250	5,419	590,583	2022/05/15	
小 計	-	-	8,730	9,548	1,040,543	-	
(シンガポール)		%	千シンガポール・ドル	千シンガポール・ドル	千円		
SINGAPORE 2.25 06/01/21	国 債 証 券	2.2500	5,600	5,677	428,123	2021/06/01	
SINGAPORE 3.125 09/01/22	国 債 証 券	3.1250	7,500	7,863	593,005	2022/09/01	
小 計	-	-	13,100	13,541	1,021,129	-	
合 計	-	-	-	-	2,061,672	-	

(2) 親投資信託残高

	第22作成期末		第 23 作 成 期 末	
	□ 数	□ 数	□ 数	評 価 額
		千□	千□	千円
国 際 機 関 債 マ ザ ー フ ァ ン ド	3,399,887		3,037,971	3,707,236

<補足情報>

■国際機関債マザーファンドの組入資産の明細

下記は、国際機関債マザーファンド（3,037,971,666円）の内容です。

公社債

(A) 債券種類別開示

外国（外貨建）公社債

区 分	2020 年 3 月 19 日 現 在							
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
トルコ	千トルコ・リラ 87,180	千トルコ・リラ 85,259	千円 1,434,070	% 38.7	% -	% -	% 13.7	% 24.9
メキシコ	千メキシコ・ペソ 282,000	千メキシコ・ペソ 277,025	千円 1,268,774	34.2	-	-	22.2	12.1
インドネシア	千インドネシア・ルピア 82,500,000	千インドネシア・ルピア 81,198,937	千円 584,632	15.8	-	-	2.5	13.3
南アフリカ	千南アフリカ・ランド 41,000	千南アフリカ・ランド 42,442	千円 265,688	7.2	-	-	3.5	3.6
合 計	-	-	千円 3,553,165	95.8	-	-	41.9	53.9

(注1) 邦貨換算金額は、2020年3月19日現在の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、2020年3月19日現在のマザーファンド純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示
外国（外貨建）公社債銘柄別

銘柄	種 類	2020 年 3 月 19 日 現 在					償還年月日
		利 率	額 面 金 額	評 価 額			
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
(トルコ)		%	千トルコ・リラ	千トルコ・リラ	千円		
EBRD 27.5 09/11/20	特 殊 債 券	27.5000	3,680	3,878	65,233	2020/09/11	
EBRD 24.0 09/10/21	特 殊 債 券	24.0000	20,000	23,012	387,070	2021/09/10	
EIB 09/05/22	特 殊 債 券	—	40,000	30,272	509,181	2022/09/05	
IADB 26.5 10/25/21	特 殊 債 券	26.5000	23,500	28,096	472,584	2021/10/25	
小 計	—	—	87,180	85,259	1,434,070	—	
(メキシコ)		%	千メキシコ・ペソ	千メキシコ・ペソ	千円		
EIB 7.625 01/12/22	特 殊 債 券	7.6250	96,000	97,594	446,983	2022/01/12	
EIB 5.5 01/23/23	特 殊 債 券	5.5000	186,000	179,430	821,791	2023/01/23	
小 計	—	—	282,000	277,025	1,268,774	—	
(インドネシア)		%	千インドネシア・ルピア	千インドネシア・ルピア	千円		
IADB 7.875 03/14/23	特 殊 債 券	7.8750	12,500,000	12,904,375	92,911	2023/03/14	
EIB 5.2 03/01/22	特 殊 債 券	5.2000	30,000,000	28,957,500	208,494	2022/03/01	
IADB 5.8 09/28/20	特 殊 債 券	5.8000	10,000,000	9,774,001	70,372	2020/09/28	
EBRD 6.25 12/22/21	特 殊 債 券	6.2500	30,000,000	29,563,060	212,854	2021/12/22	
小 計	—	—	82,500,000	81,198,937	584,632	—	
(南アフリカ)		%	千南アフリカ・ランド	千南アフリカ・ランド	千円		
EIB 9.0 03/31/21	特 殊 債 券	9.0000	21,000	21,474	134,430	2021/03/31	
EIB 8.375 07/29/22	特 殊 債 券	8.3750	20,000	20,967	131,257	2022/07/29	
小 計	—	—	41,000	42,442	265,688	—	
合 計	—	—	—	—	3,553,165	—	

■投資信託財産の構成

2020年3月19日現在

項 目	第 23 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 2,061,672	% 35.0
国 際 機 関 債 マ ザ ー フ ァ ン ド	3,707,236	62.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	126,191	2.1
投 資 信 託 財 産 総 額	5,895,100	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 作成期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、2020年3月19日現在、2,071,987千円、35.1%、国際機関債マザーファンドは3,702,864千円、99.9%です。

(注3) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2020年3月19日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=108.98円、1シンガポール・ドル=75.41円、1トルコ・リラ=16.82円、1メキシコ・ペソ=4.58円、100インドネシア・ルピア=0.72円、1南アフリカ・ランド=6.26円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年10月21日)、(2019年11月19日)、(2019年12月19日)、(2020年1月20日)、(2020年2月19日)、(2020年3月19日)現在

項 目	第 130 期 末	第 131 期 末	第 132 期 末	第 133 期 末	第 134 期 末	第 135 期 末
(A) 資 産	6,936,002,368円	6,908,468,568円	6,888,127,063円	6,948,824,728円	6,713,448,796円	5,895,100,556円
コール・ローン等	114,217,410	149,792,614	91,568,239	120,641,958	96,799,399	113,372,260
公社債(評価額)	2,262,718,113	2,206,863,448	2,229,128,595	2,241,068,153	2,200,912,596	2,061,672,195
国際機関債マザーファンド(評価額)	4,526,559,037	4,540,655,859	4,554,618,945	4,561,956,925	4,398,543,100	3,707,236,824
未 収 利 息	23,944,886	4,924,129	9,763,159	12,196,835	13,666,513	10,315,781
前 払 費 用	7,303,980	4,726,013	1,302,906	10,967,922	1,271,516	-
その他未収収益	1,258,942	1,506,505	1,745,219	1,992,935	2,255,672	2,503,496
(B) 負 債	63,027,832	62,789,741	63,890,886	68,721,004	71,419,884	57,636,280
未 払 収 益 分 配 金	41,397,395	41,067,280	40,633,062	40,307,954	39,801,134	39,174,332
未 払 解 約 金	12,778,236	13,553,970	14,892,870	19,516,882	23,369,972	11,051,219
未 払 信 託 報 酬	8,829,195	8,147,262	8,343,215	8,873,564	8,228,432	7,392,454
その他未払費用	23,006	21,229	21,739	22,604	20,346	18,275
(C) 純資産総額(A-B)	6,872,974,536	6,845,678,827	6,824,236,177	6,880,103,724	6,642,028,912	5,837,464,276
元 本	16,558,958,168	16,426,912,144	16,253,225,062	16,123,181,805	15,920,453,959	15,669,732,952
次 期 繰 越 損 益 金	△9,685,983,632	△9,581,233,317	△9,428,988,885	△9,243,078,081	△9,278,425,047	△9,832,268,676
(D) 受 益 権 総 額	16,558,958,168円	16,426,912,144円	16,253,225,062円	16,123,181,805円	15,920,453,959円	15,669,732,952円
1万円当たり基準価額(C/D)	4,151円	4,167円	4,199円	4,267円	4,172円	3,725円

(注) 第129期末における元本額は16,641,665,865円、当作成期間(第130期~第135期)中における追加設定元本額は491,811,094円、同解約元本額は1,463,744,007円です。

■損益の状況

〔自 2019年 9月20日 至 2019年10月21日〕〔自 2019年10月22日 至 2019年11月19日〕〔自 2019年11月20日 至 2019年12月19日〕〔自 2019年12月20日 至 2020年 1月20日〕〔自 2020年 1月21日 至 2020年 2月19日〕〔自 2020年 2月20日 至 2020年 3月19日〕

項 目	第 130 期	第 131 期	第 132 期	第 133 期	第 134 期	第 135 期
(A) 配 当 等 収 益	7,458,338円	6,812,758円	6,952,906円	6,625,495円	6,000,149円	5,675,661円
受 取 利 息	7,257,051	6,569,262	6,718,520	6,381,729	5,738,566	5,431,115
そ の 他 収 益 金	204,017	245,512	236,802	247,157	262,691	246,335
支 払 利 息	△2,730	△2,016	△2,416	△3,391	△1,108	△1,789
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	39,554,274	69,529,039	92,967,572	153,049,119	△109,246,528	△658,497,349
売 買 益	56,571,021	74,042,610	99,247,573	154,092,653	4,050,697	27,292,239
売 買 損	△17,016,747	△4,513,571	△6,280,001	△1,043,534	△113,297,225	△685,789,588
(C) 信 託 報 酬 等	△8,875,920	△8,206,824	△8,420,299	△8,953,059	△8,307,403	△7,465,699
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	38,136,692	68,134,973	91,500,179	150,721,555	△111,553,782	△660,287,387
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△5,352,234,848	△5,276,505,212	△5,169,694,759	△5,055,742,192	△4,864,113,532	△4,916,397,333
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△4,330,488,081	△4,331,795,798	△4,310,161,243	△4,297,749,490	△4,262,956,599	△4,216,409,624
(配 当 等 相 当 額)	(292,303,180)	(286,135,729)	(279,172,480)	(274,992,252)	(271,606,967)	(260,525,899)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△4,622,791,261)	(△4,617,931,527)	(△4,589,333,723)	(△4,572,741,742)	(△4,534,563,566)	(△4,476,935,523)
(G) 合 計 (D+E+F)	△9,644,586,237	△9,540,166,037	△9,388,355,823	△9,202,770,127	△9,238,623,913	△9,793,094,344
(H) 収 益 分 配 金	△41,397,395	△41,067,280	△40,633,062	△40,307,954	△39,801,134	△39,174,332
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△9,685,983,632	△9,581,233,317	△9,428,988,885	△9,243,078,081	△9,278,425,047	△9,832,268,676
追 加 信 託 差 損 益 金	△4,334,543,524	△4,335,878,922	△4,312,193,958	△4,297,749,490	△4,269,929,560	△4,224,275,720
(配 当 等 相 当 額)	(288,425,438)	(282,150,936)	(277,209,388)	(275,062,478)	(264,694,256)	(252,700,775)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△4,622,968,962)	(△4,618,029,858)	(△4,589,403,346)	(△4,572,811,968)	(△4,534,623,816)	(△4,476,976,495)
分 配 準 備 積 立 金	-	-	-	776,662	-	-
繰 越 損 益 金	△5,351,440,108	△5,245,354,395	△5,116,794,927	△4,946,105,253	△5,008,495,487	△5,607,992,956

(注 1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注 2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注 3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注 4) 分配金の計算過程

項 目	第 130 期	第 131 期	第 132 期	第 133 期	第 134 期	第 135 期
(a) 経費控除後の配当等収益	37,341,952円	36,984,156円	38,600,347円	41,084,616円	32,064,266円	31,308,236円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	292,480,881	286,234,060	279,242,103	275,062,478	271,667,217	260,566,871
(d) 分 配 準 備 積 立 金	0	0	0	0	763,907	0
(e) 当 期 分 配 対 象 額 (a+b+c+d)	329,822,833	323,218,216	317,842,450	316,147,094	304,495,390	291,875,107
(f) 1万口当たり当期分配対象額	199.18	196.76	195.56	196.08	191.26	186.27
(g) 分 配 金	41,397,395	41,067,280	40,633,062	40,307,954	39,801,134	39,174,332
(h) 1万口当たり分配金	25	25	25	25	25	25

■分配金のお知らせ

決 算 期	第 130 期	第 131 期	第 132 期	第 133 期	第 134 期	第 135 期
1万口当たり分配金	25円	25円	25円	25円	25円	25円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

国際機関債マザーファンド

運用報告書

第11期（決算日 2019年9月19日）

（計算期間 2018年9月20日～2019年9月19日）

国際機関債マザーファンドの第11期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2008年10月15日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	「国際機関債」を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資には、制限を設けません。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入率 比	債券先物率 比	純資産額
	期騰	中落率			
7期(2015年9月24日)	円 11,270	% △23.5	% 95.4	% -	百万円 11,509
8期(2016年9月20日)	12,458	10.5	95.4	-	8,851
9期(2017年9月19日)	15,239	22.3	95.5	-	8,253
10期(2018年9月19日)	11,200	△26.5	95.7	-	5,087
11期(2019年9月19日)	13,539	20.9	93.3	-	4,603

(注1) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注3) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

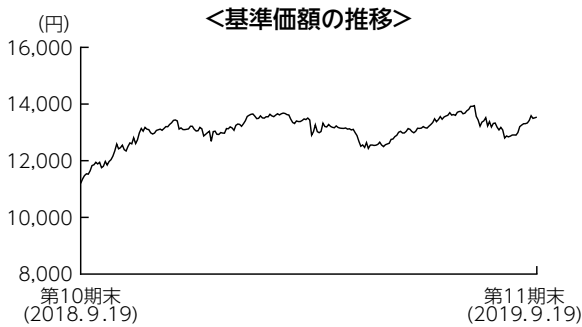
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 円	価 額	債券組入比率 %	債券先物比率 %
		騰 落 率 %		
(期 首) 2018年 9 月19日	11,200	—	95.7	—
9 月 末	11,828	5.6	95.7	—
10 月 末	12,811	14.4	95.0	—
11 月 末	13,424	19.9	94.2	—
12 月 末	13,039	16.4	94.5	—
2019年 1 月 末	13,411	19.7	93.7	—
2 月 末	13,657	21.9	91.3	—
3 月 末	12,989	16.0	95.7	—
4 月 末	12,889	15.1	95.7	—
5 月 末	12,764	14.0	94.8	—
6 月 末	13,280	18.6	94.6	—
7 月 末	13,920	24.3	93.4	—
8 月 末	12,906	15.2	92.8	—
(期 末) 2019年 9 月19日	13,539	20.9	93.3	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2018年9月20日から2019年9月19日まで）



基準価額の推移

当期末の基準価額は13,539円となり、前期末に比べ20.9%上昇しました。

基準価額の主な変動要因

米国で政策金利の引き下げが実施されるなど、主要国の中央銀行が金融緩和姿勢を強化する中、トルコやブラジルなどを中心に国債利回りが低下（価格は上昇）したことがプラス材料となり、基準価額は上昇しました。また、米国との関係改善が期待されたトルコリラの上昇など、個別国の要因もプラス材料となりました。

投資環境

当ファンドの投資国の債券利回りは低下する結果となりました。当ファンドの投資国であるブラジル、トルコ、南アフリカおよびインドネシアの中央銀行が軒並み利下げを実施したことなどから、債券の利回りが低下しました。

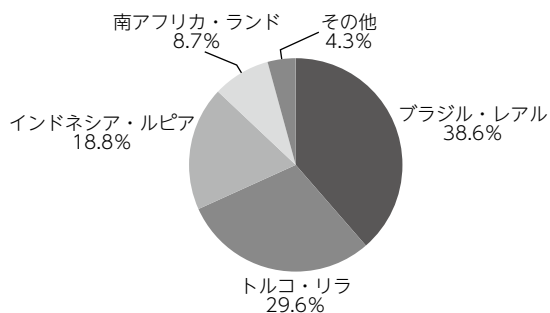
投資国の通貨はまちまちな動きとなりました。隣国アルゼンチンの混乱が重石となったブラジルレアルと格下げが懸念された南アフリカランドは対円で下落した一方、米国との関係改善が期待されたトルコリラとジョコ大統領の再選が好材料となったインドネシアルピアは対円で上昇しました。

ポートフォリオについて

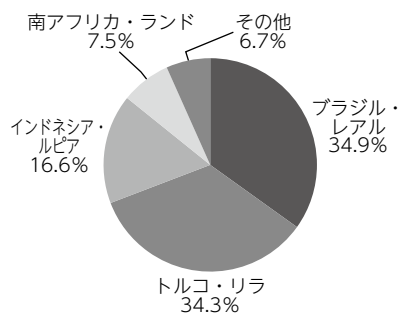
各国の国債利回りの水準、新興国通貨建て国際機関債の流動性などを考慮し、トルコリラ、ブラジルレアル、インドネシアルピア、南アフリカランド建の国際機関債を組入れました。

【運用状況】

○通貨別構成比 期首（前期末）



期末



※ 1 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※ 2 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

今後の運用方針

世界の主要な国際機関が発行する新興国通貨建て債券を組入れる方針です。金利水準および市場流動性などを鑑みながら組入対象については適宜見直しをはかり、引き続き、中長期的に安定した収益の積み上げをめざします。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) その他費用 (保管費用)	2円	0.016%
(その他)	(0)	(0.000)
合 計	2	0.016

(注) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(13,072円)で除して100を乗じたものです。なお、(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数です。保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用です。その他は、信託事務の処理に要する諸費用等です。

■ 売買及び取引の状況 (2018年9月20日から2019年9月19日まで)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	トルコ	特殊債券	千トルコ・リラ 42,492	千トルコ・リラ 30,451 (27,800)
	インドネシア	特殊債券	千インドネシア・ルピア 58,971,900	千インドネシア・ルピア 88,079,110 (-)
	ブラジル	特殊債券	千ブラジル・リアル 36,426	千ブラジル・リアル 50,431 (-)
	南アフリカ	特殊債券	千南アフリカ・ランド 55,245	千南アフリカ・ランド 67,874 (-)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2018年9月20日から2019年9月19日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

外国（外貨建）公社債

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
ト ル コ	千トルコ・リラ 79,680	千トルコ・リラ 82,683	千円 1,578,428	% 34.3	% -	% -	% -	% 34.3
イ ン ド ネ シ ア	千インドネシア・ルピア 101,000,000	千インドネシア・ルピア 99,184,940	千円 763,724	16.6	-	-	9.8	6.7
ブ ラ ジ ル	千ブラジル・レアル 56,900	千ブラジル・レアル 60,943	千円 1,606,469	34.9	-	-	31.5	3.4
南 ア フ リ カ	千南アフリカ・ランド 46,000	千南アフリカ・ランド 47,037	千円 346,664	7.5	-	-	3.4	4.2
合 計	-	-	千円 4,295,285	93.3	-	-	44.7	48.6

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示

外国（外貨建）公社債銘柄別

銘 柄	当 期 末							
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日		
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			
(トルコ)		%	千トルコ・リラ	千トルコ・リラ	千円			
EBRD 30.0 01/15/20	特 殊 債 券	30.0000	12,000	12,486	238,357	2020/01/15		
IBRD 10.0 03/16/20	特 殊 債 券	10.0000	45,000	44,047	840,872	2020/03/16		
EBRD 27.5 09/11/20	特 殊 債 券	27.5000	3,680	4,112	78,516	2020/09/11		
EBRD 24.0 09/10/21	特 殊 債 券	24.0000	19,000	22,036	420,681	2021/09/10		
小 計	-	-	79,680	82,683	1,578,428	-		
(インドネシア)		%	千インドネシア・ルピア	千インドネシア・ルピア	千円			
EIB 5.2 03/01/22	特 殊 債 券	5.2000	30,000,000	29,099,400	224,065	2022/03/01		
IADB 5.8 09/28/20	特 殊 債 券	5.8000	41,000,000	40,333,340	310,566	2020/09/28		
EBRD 6.25 12/22/21	特 殊 債 券	6.2500	30,000,000	29,752,200	229,091	2021/12/22		
小 計	-	-	101,000,000	99,184,940	763,724	-		
(ブラジル)		%	千ブラジル・レアル	千ブラジル・レアル	千円			
IBRD 8.0 01/31/22	特 殊 債 券	8.0000	21,400	22,820	601,537	2022/01/31		
IFC 8.25 01/30/23	特 殊 債 券	8.2500	22,000	23,780	626,847	2023/01/30		
IFC 11.5 10/30/20	特 殊 債 券	11.5000	5,500	5,901	155,559	2020/10/30		
EIB 7.25 11/08/22	特 殊 債 券	7.2500	8,000	8,441	222,524	2022/11/08		
小 計	-	-	56,900	60,943	1,606,469	-		
(南アフリカ)		%	千南アフリカ・ランド	千南アフリカ・ランド	千円			
EIB 7.5 01/15/20	特 殊 債 券	7.5000	26,000	26,109	192,424	2020/01/15		
EIB 8.375 07/29/22	特 殊 債 券	8.3750	20,000	20,928	154,239	2022/07/29		
小 計	-	-	46,000	47,037	346,664	-		
合 計	-	-	-	-	4,295,285	-		

■投資信託財産の構成

2019年9月19日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 4,295,285	% 93.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	307,768	6.7
投 資 信 託 財 産 総 額	4,603,054	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 当期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、4,601,074千円、100.0%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2019年9月19日における邦貨換算レートは、1トルコ・リラ=19.09円、100インドネシア・ルピア=0.77円、1ブラジル・レアル=26.36円、1南アフリカ・ランド=7.37円、1ユーロ=119.49円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年9月19日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	4,603,054,023円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	81,016,432
公 社 債(評価額)	4,295,285,689
未 収 利 息	201,812,167
前 払 費 用	24,939,735
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	4,603,054,023
元 本	3,399,887,280
次 期 繰 越 損 益 金	1,203,166,743
(D) 受 益 権 総 口 数	3,399,887,280口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,539円

(注1) 期首元本額 4,542,691,011円
追加設定元本額 0円
一部解約元本額 1,142,803,731円

(注2) 期末における元本の内訳
D I A M高格付外債ファンド 3,399,887,280円
期末元本合計 3,399,887,280円

■損益の状況

当期 自2018年9月20日 至2019年9月19日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	482,768,855円
受 取 利 息	482,774,139
支 払 利 息	△5,284
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	527,347,590
売 買 益	647,267,152
売 買 損	△119,919,562
(C) そ の 他 費 用	△802,253
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	1,009,314,192
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	545,072,946
(F) 解 約 差 損 益 金	△351,220,395
(G) 合 計(D+E+F)	1,203,166,743
次 期 繰 越 損 益 金(G)	1,203,166,743

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。